令和８年度 全国学力・学習状況調査の結果と今後の取り組みについて

爽秋の候 、保護者の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃より本校の教育活動に多大なるご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、４月に実施いたしました「学力・学習状況調査」の結果がまとまりましたので、ご報告いたします。本校ではこの結果を真摯に受け止め、子どもたち一人ひとりのさらなる成長につなげていくため、日々の授業改善や学習サポートに全力で取り組んでまいります。

調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

1. 本校の児童の強み（よくできている点）

今年度の調査結果から、本校の児童は算数の小数の仕組みの問題では９５．５%の正答率がありました。全国の平均を上回る結果が見られました。また、体積を求めたり、表やグラフを読み取ったりする力は定着しています。算数の基礎的な計算力・公式の理解等を身に着けています。

国語では、言葉の特徴や使い方など語彙に関する力が高い結果でした。　これは、日頃から学校全体で取り組んでおります、朝の学習や朝の読書活動、 対話的な学びの推進や今まで算数の研究に取り組んできた成果が着実に表れてきているものと捉えております。子どもたちが真剣に学習に向き合い、身につけた力が発揮されたことを、教職員一同大変嬉しく思っております。

2. 今後の伸びしろと学校の重点的な取り組み

基礎的な学力がしっかりと定着している一方で、今後は 筋道を立てて自分の考えを文章にまとめる力や条件に気を付けて問題を解くことに、さらなる伸びしろがあることが確認できました。

この結果を受け、本校では今後、以下の取り組みに重点を置き、「わかる・できる喜び」を実感できる授業を展開してまいります。

- **【具体的な指導策①：朝の学習での文章を読み取り、書く力をつける取り組み】**
- **【具体的な指導策②：朝の学習での算数の基礎的な力をつける取り組み】**
- **【具体的な指導策③：今まで続けてきた「豊かな言葉で自分の思いを表現できる」活動を「書く活動」に重点化し、「書く」活動に取り組む時間の確保**
- **【具体的な指導策④：今年度より「読解力の向上」に重点化し、朝の学習＋読み取りを深める活動に学校全体で文章を読むことを授業で取り組む活動の時間の確保**

3. ご家庭へのお願い

学力の向上には、学校での学習に加え、ご家庭での規則正しい生活習慣と学習習慣の定着が不可欠です。学校で学んだことをしっかりと自分の力にするために、ぜひご家庭でも以下の点についてご協力をお願いいたします。

- **基本的生活習慣の維持：** 【早寝・早起き・朝ごはんの徹底】をお願いします。
- **家庭学習の習慣化：** 【毎日〇分間は机に向かう / 宿題の音読を聞いてサインをする】など、子どもたちの頑張りを見守り、温かい声かけをお願いいたします。
- **メディアコントロール（スマホ・テレビ・SNS）のルール作り：**
  ①「時間」のルール：1日〇分まで、夜〇時以降は使わない。
  ②「場所」のルール：食事中や寝室には持ち込まない。
  ③「使い道」のルール：SNSへの書き込みや動画視聴は、おうちの人の目が届く場所でやる。

本校はこれからも、家庭と地域と手を携え、子どもたちの豊かな心と確かな学力を育んでまいります。今後とも、本校の教育活動へのご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。